

# MITSUBISHI

## 三菱薄形電気温水器 ダイヤホット 40

1.通電制御型  
 温水器は申請によって割引料金が適用されます。買換えなどで機種変更した場合でも電力会社へ申請してください。ご不明の点は電力会社にお問い合わせください。  
 この温水器は第二深夜電力（5時間）では使えません。

深夜電力（8時間）用通電制御型  
 形名〔SRG-R3764-BL〕

### 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

#### 安全のために必ずお守りください

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために正しい据付工事が必要です。工事の前にこの「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

本文中に使われる“図記号”の意味は次の通りです。

	<b>警告</b>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。
	<b>注意</b>	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、行なってください。
	必ずアース工事を行なってください。

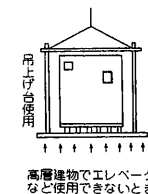
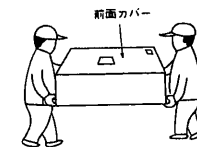
<b>警告</b>		<b>注意</b>	
	必ずアース工事をする 工事に不備があると、故障や漏電のときに感電する恐れがあります。		凍結防止対策を行う 凍結すると、配管が破裂してやけどをすることがあります。
	ガス類や引火物の近くには据付けない 据付けると、発火・火災になることがあります。		床面の防水・排水処理工事をする 処理しないと、水漏れが起きたとき大きな被害につながる恐れがあります。
	漏電遮断器の動作を確認する 故障のまま使用すると、感電する恐れがあります。		脚をアンカーボルトで固定する 固定しないと、地震のとき本体が倒れてけがをすることがあります。

## 1. 据付工事をされる方へ

- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
- お読みになった後は、取扱説明書とともに、お使いになるお客さまにお渡しください。

### 【お願い】

- この据付工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を用いないで工事され、事故や故障が生じた場合は責任を負いかねます。
- 配管工事については必ず、当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が行い、指定された配管材料を使用してください。
- 水は必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水をご使用ください。
- 電気工事は必ず電気工事が行なってください。
- 屋外で開梱した場合、強風によって製品が転倒する場合がありますので風が当たらない安定した場所に仮置きするようにしてください。
- 運搬するときは前面カバーを上にしてください。前面カバーを下にすると突起物にあたって変形するおそれがあります。
- 工事をされる時、温水器の上には上がらないでください。変形するおそれがあります。
- 高層住宅などへのつり上げ運搬はつり上げ台を使用してください。
- この温水器は給湯側と給水側に別れていますが据付けの際はできるだけ離さないでください。



## 2. 純正別売部品

据付工事には、品質と耐久性を考え、三菱純正別売品をお使いください。

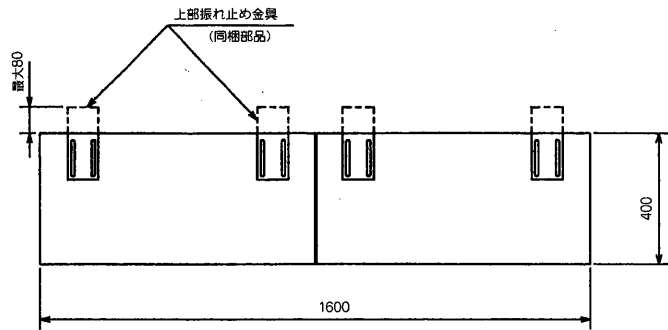
NO	部品名	個数	形名
1	リモコン	1	RMC-4
2	リモコンケーブル(3m)	1	LM-503B
3	リモコンケーブル(5m)	1	LM-505B
4	リモコンケーブル(7m)	1	LM-507B
5	リモコンケーブル(10m)	1	LM-510B
6	リモコンケーブル(15m)	1	LM-515B
7	絶縁パイプ(1m)	1	GT-60B
8	絶縁パイプ(0.5m)	1	GT-61B
9	アース棒	1	GT-30B
10	給湯加圧ポンプ	1	GT-81B
11	アンカーボルトM10(50本入)	—	GZ-B2
12	負圧作動弁付逃し弁	1	GT-40B
13	脚部カバー	1	GT-B460R

## 3. 同梱付属品

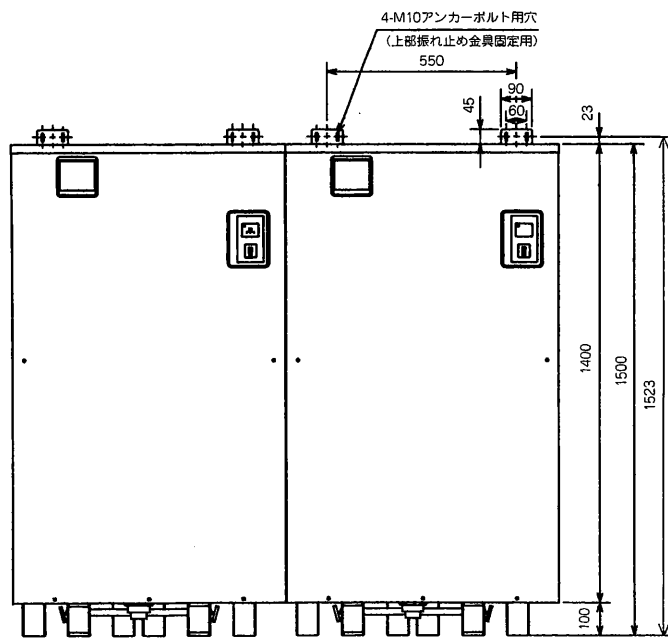
次の部品が付属されています。

- 脚固定金具  
給湯側、給水側の木枠下側にあります。  
 4個
- 通信用中継ケーブル  
給水側の右下にあります。  
 約7m 1本
- 連結管（銅管）  
給水側の右下にあります。  
 1本

# 4.外形寸法図



上面図

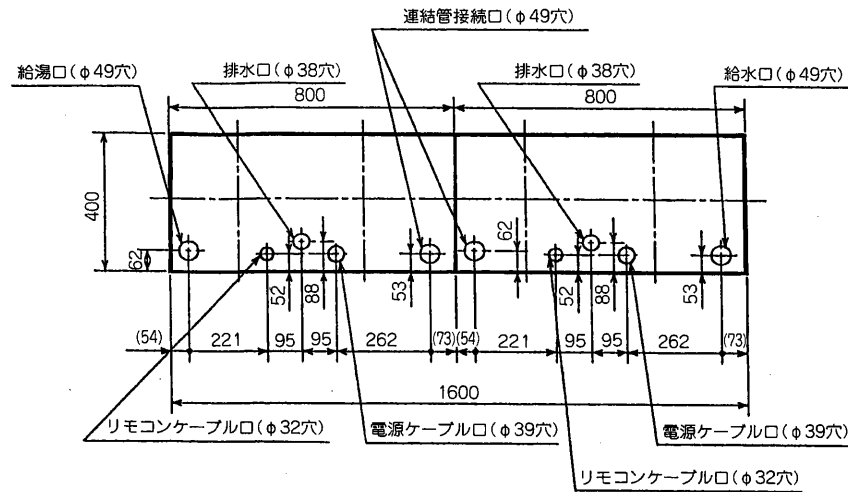


給湯側

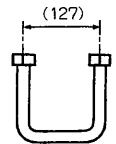
給水側

正面図

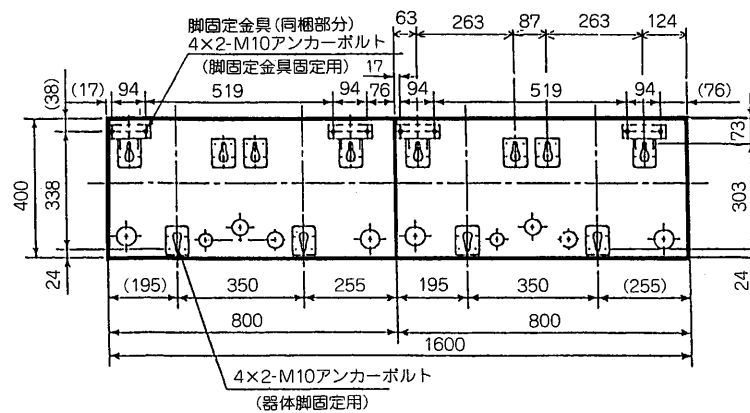
配管・配線用穴位置図(ケース下部：上面透視図)



連結管

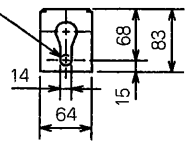


アンカーボルト位置図(ケース下部：上面透視図)



器体脚詳細図

アンカーボルト M10固定位置





# 6. 電気工事

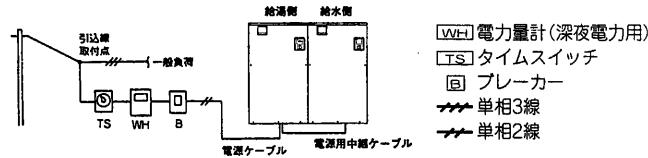
電気設備に関する技術基準および電力会社の内線規程に基づき指定工事業者による施工が必要です。

- 試運転は必ずタンクを満水にしてから行なってください。
- タイムスイッチは深夜電力（8時間）用です。
- プレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められた物を使用してください。

【お知らせ】 ケーブルの太さは、将来容量の大きい温水器に買替えても可能なように1ランク上のサイズにしておくことをおすすめします。

## 引込配線

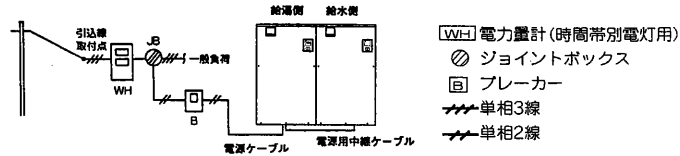
引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。



ブレーカーの定格とケーブルの太さ

定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
単相200V(深夜電力)	4.4 kW	30A	φ2.6mm (電源ケーブル) (電源用中継ケーブル)	VVF

別売のリモコン (RMC-4) で時間帯別電灯として使用するときの回路



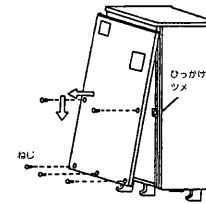
【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス (JB) 間の電線 (ケーブル) の太さは一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。

## 配線

### 1. 電源ケーブルと200Vターミナルの配線

- ① 前面カバーのねじ（給湯側、給水側各5本）を外したあと、前面カバーを手前に引いて下げます。
- ② 給湯側の電源ケーブル口から電源ケーブルを通し、200Vターミナルに接続します。
- ③ ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。

前面カバーの外し方



### 2. 電源用中継ケーブルの配線

- ① 電源用中継ケーブルの一方を給湯側の電源ケーブル口から通し、給湯側の中継ターミナルに接続します。
- ② 電源用中継ケーブルのもう一方を給水側の電源ケーブル口から通し、給水側の中継ターミナルに接続します。
- ③ ケーブル押え板で電源用中継ケーブルを固定します。

### 3. 通信用中継ケーブルの配線

- ① 同梱付属品の通信用中継ケーブルの一方（赤色）を給湯側のリモコンケーブル口から通し、制御基板の左下にある赤色のリモコン中継コネクタ（P61）に差し込みます。
- ② 同様に通信用中継ケーブルのもう一方（白色）を給水側のリモコンケーブル口から通し、給水側の制御基板の左下にある白色のコネクタ（P2）に差し込みます。
- ③ ケーブルクランパーで通信用中継ケーブルを押えます。（4カ所）
- ④ 前面カバーを本体に取付けます。

【お願い】

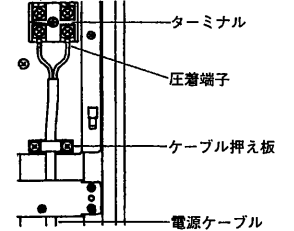
- ・ ケーブルは必要以上にたるませないでください。
- ・ 電源ケーブルと通信ケーブルの間は5cm以上離してください。
- ・ 電源ケーブルと通信ケーブルは別の電線管に入れてください。

## 保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士による第3種接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
  - 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
  - 避雷針の接地と2m以上離してください。
  - 必ず給湯側、給水側の両方を行なってください。
- ① 別売部品のアース棒（GT-30B）と市販のアース線（電線3.5mm<sup>2</sup>緑色）を半田付または中継端子で接続します。
  - ② アース線を給湯側、給水側の電源ケーブル口から通し、200Vターミナル左下（給湯側）と中継ターミナル左下（給水側）の保護アースに接続します。
  - ③ アース棒は湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込んでください。（集合住宅の場合はアース配線に接続してください。）

ケーブルの接続

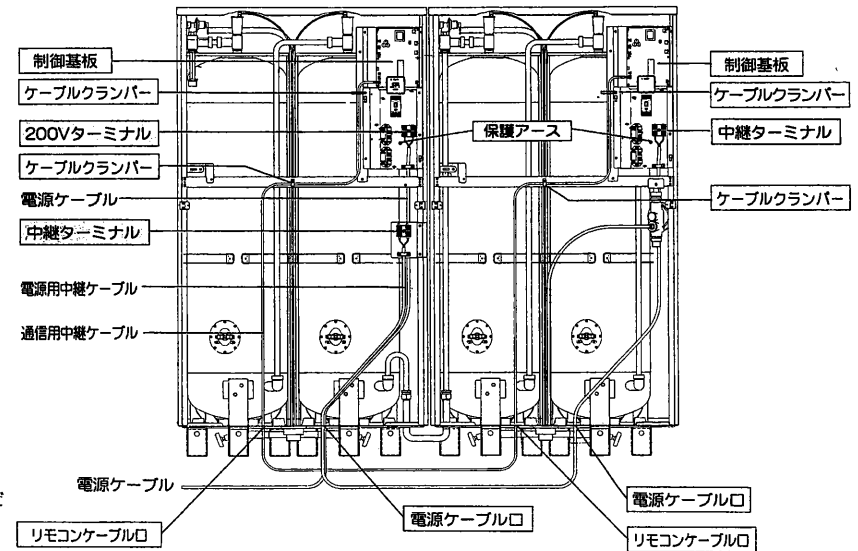
- ・ 締付トルク33kgf・cm以上
- ・ 線間絶縁距離6mm以上



【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

給湯側

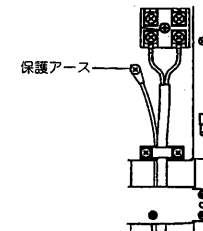
給水側



## 警告

必ずアース工事をする

故障や漏電のときに感電することがあります。



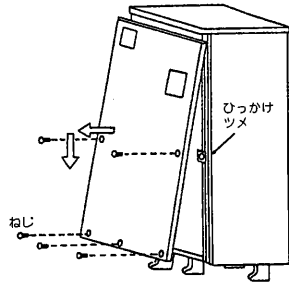
## 7. 配管工事

- 周囲の条件により2台を離して据付ける場合、給湯側、給水側の距離は2m以内にしてください。
- 配管工事は必ず認定水道工業者が行なってください。
- 上水道を使用する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者による施工が必要です。
- 絶縁パイプは耐久性を考え三菱純正別売部品をお使いください。なお、当該水道局で材質が指定されている場合はそれに従ってください。(三菱純正別売部品を使用せず、これが原因で本体不良になった場合は製品本体の保証はできません。)
- 温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けてください。
- 水栓は湯水混合栓を使用することをおすすめします。特に浴室ではサーモスタット付混合栓等の使用をおすすめします。

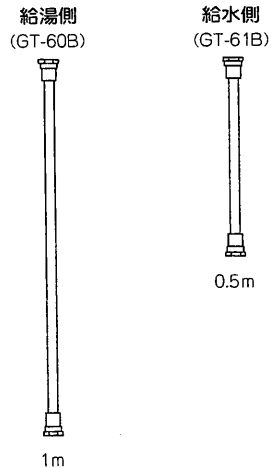
- 【お願い】
- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器ケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
  - 配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますから加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。
  - 鳥居配管をしますと、配管途中にエア溜まりを生じますので避けてください。
  - 給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。

### 前面カバーの外し方

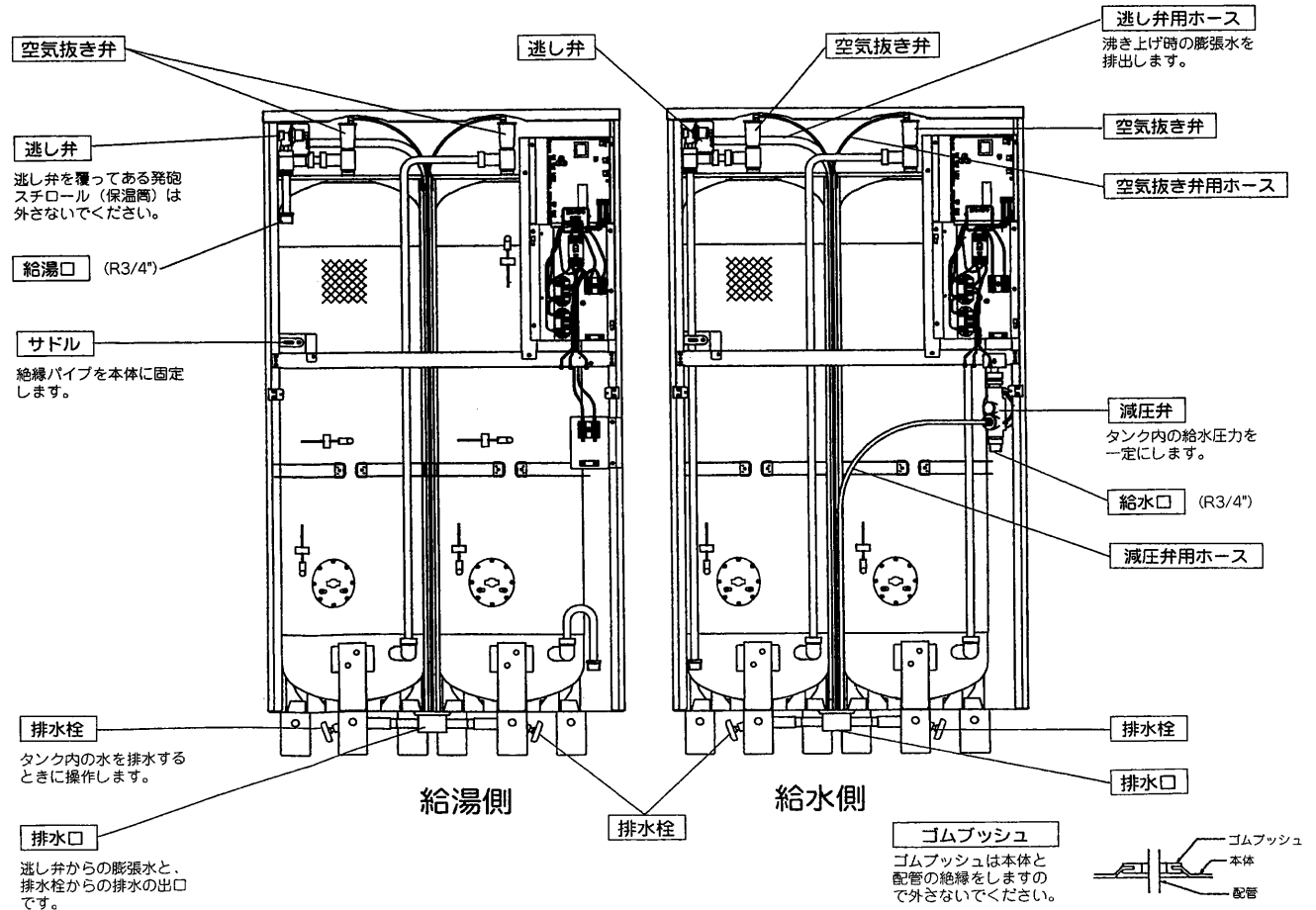
前面カバーのねじ(給湯側、給水側各5本)を外したあと、前面カバーを手前に引いて下げます。配管工事が終わったら確実にねじをしめてください。



### 絶縁パイプ(別売部品)

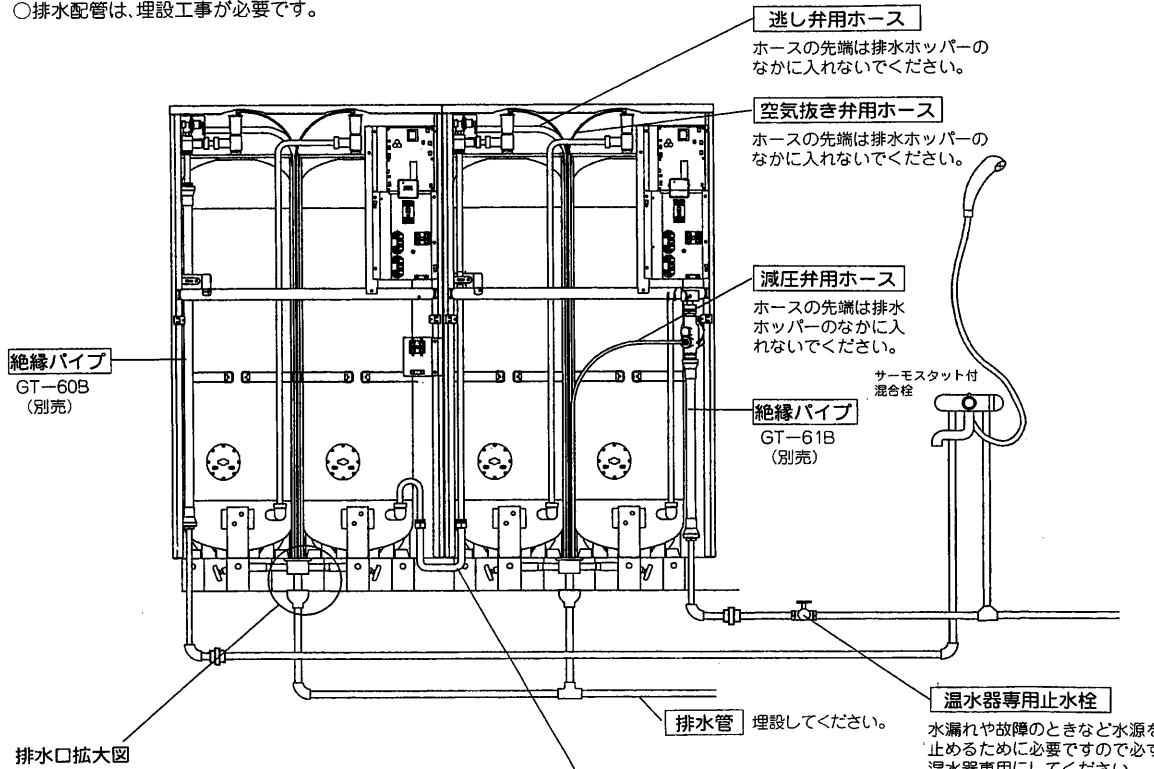


### 本体内部構造図(配管組み前)



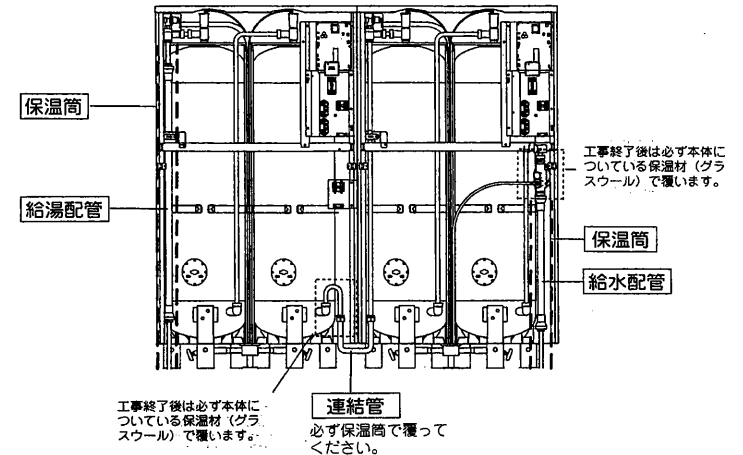
## 配管

- 絶縁パイプは三菱純正別売品をお使いください。
- 給湯配管は、耐熱、耐食性など耐久性の点から銅管やステンレス管などを使用してください。
- 給水配管は合成樹脂内面処理鋼管、又は銅管を使用してください。
- 給水配管には、タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓を必ず取付けてください。
- 排水管は、排水時に高温の湯が排水される場合がありますので、耐熱性のある材料を使用してください。  
(内径50mm以上、配管勾配1/200以上)
- 排水配管は、ケース底面に排水口の穴(φ38mm)があいていますので口径80mm以上の排水ホッパーを使用し、排水口から排水がこぼれ出ないようにしてください。
- 排水配管は、埋設工が必要です。



## 保温

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから工事をしてください。
- 湯温の低下と凍結防止のため、すべての配管には必ず保温材を巻いてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。



【お願い】連結管は連結防止のため保温工事をしてください。

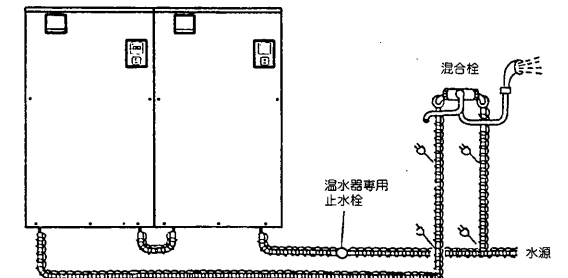
## 凍結防止工事

保温工事があっても周囲温度が0℃以下になると、配管が凍結する恐れがありますので適切な凍結防止対策を施工してください。

【お願い】凍結防止対策とその操作方法をお客様に充分説明してください。

凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。(本体内部の配管については保温材による凍結防止を行なってください)
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合はヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。



## 8. 据付・工事後の確認

据付工事が終わりましたら、お客様立ち合いのもとで下表に従ってもう一度点検してください。  
不具合がありましたら必ず直してください。(機能が発揮できないばかりが、安全性が確保できません。)

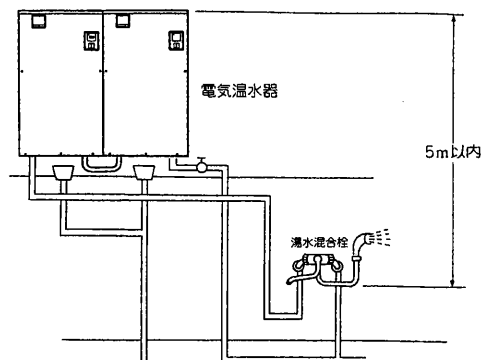
チェック項目	チェックポイント		判定							
1 据付け状態	①脚がアンカーボルトで固定されていますか	④火気・引火物に近くありませんか								
	②温水器の満水時の重量に十分耐えますか	⑤温水器本体の出し入れが出来ますか								
	③点検・修理がしやすいですか	⑥排水・防水処理はしてありますか								
2 配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか	⑥給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか(銅管、ステンレス管などであれば可)								
	②絶縁パイプはついてますか	⑦埋込部に塩ビ管を使用してないですか								
	③排水ホッパーはついてますか	⑧絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか								
	④排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか	⑨排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか								
	⑤排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか	⑩給湯、給水配管には保温材が巻いてありますか								
3 水漏れ確認	温水器に次の手順で給水します									
	①台所または洗面所の湯水混合栓を開きます									
	②温水器専用止水栓を開きます									
	①湯水混合栓からの流量は十分ですか	②配管各部からの水漏れはないですか								
4 電気工事	①電線の太さは十分ですか	⑦電源ケーブル押えは使っていますか  参考 電線の太さ、ブレーカーなどの定格 <table border="1"> <thead> <tr> <th>温水器</th> <th>電線の太さ</th> <th>ブレーカーの定格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>370L/4.4KW</td> <td>φ2.6mm</td> <td>30A</td> </tr> </tbody> </table>	温水器	電線の太さ	ブレーカーの定格	370L/4.4KW	φ2.6mm	30A		
	温水器		電線の太さ	ブレーカーの定格						
	370L/4.4KW		φ2.6mm	30A						
	②ブレーカーはついてますか									
	③ブレーカーの定格は十分ですか									
	④線間電圧は単相200Vですか									
⑤200Vターミナルの締付けは十分ですか										
⑥接地は確実ですか(第三種接地)										
5 凍結防止工事	①適切な工事がされていますか									

試運転を実施する場合  
ヒーターの空焼きを防止するため  
タンクが満水になっていることを  
必ず確認してください。

## 特殊配管工事

### [階下へ給湯する場合]

- すでに取付けてある逃し弁を負圧作動弁付逃し弁 (GT-40B) に交換してください。
- 湯水混合栓と温水器の高差は、5m以内してください。(5m以上になると負圧作動弁付逃し弁から空気を吸込み、空気の混ざったお湯が出る場合があります。)
- 排水工事は、必ず排水ホッパーを使用して階下へ配管してください。排水ホッパーを使用しないと、タンク排水時に逃し弁より先に排水栓を開くとタンク内が負圧となりタンクを損傷するおそれがあります。

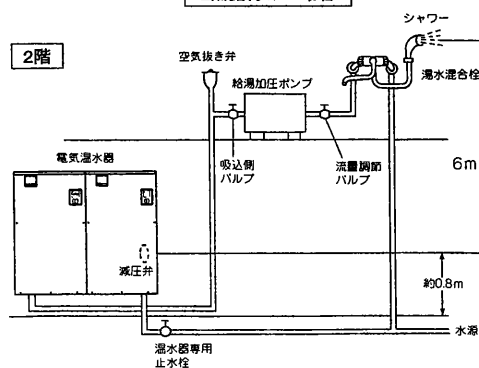


### [給湯加圧ポンプ(GT-81B)を使用する場合]

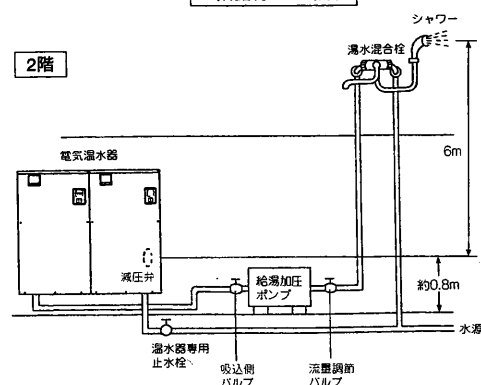
#### 据付工事方法

- すでに取付けてある逃し弁を負圧作動弁付逃し弁 (GT-40B) に交換してください。
- ポンプの吸込管側には配管内の空気を逃がすために必ず空気抜き弁を取付けてください。空気が入るとお湯が出なくなります。
- ポンプの吐出・吸込側配管にはバルブ (吸込側バルブ、流量調節バルブ) を設けてください。(修理・点検の際に必要です。)
- 減圧弁と最も高い給湯栓 (シャワー等) までの高さは6m以内してください。6mをこえるとポンプを運転させるのに必要な流量が確保できなくなるのでお湯が出ない場合があります。
- 水源の圧力は100kPa (1kgf/cm<sup>2</sup>) 以上確保してください。

#### 2階据付けの場合



#### 1階据付けの場合



詳しくは、給湯加圧ポンプGT-81Bの据付工事説明書をご覧ください

## 9. 試運転

試運転はお客様立ち合いで行なってください。

### ⚠注意

通電はタンクを満水 (湯水混合栓を「高」側にしてお湯が出る状態) にしてから行ってください。満水にならないうちに通電するとヒーターが過熱して故障の原因になります。

【お願い】電力会社の完了を得て専用タイムスイッチを通電状態にしてから行ってください。

(1)深夜電力電源200Vを通電します。

- ①ブレーカーおよび温水器の漏電遮断器電源レバーを上げて「入」にします。
- ②漏電遮断器のテストボタンを押します。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。
- ③電源レバーを「入」にもどします。ヒーターへの通電を沸き上げ中ランプの点灯と深夜電力の電力量計の回転で確認します。
- ④専用タイムスイッチの時間をセットします。

## 10. お客様への説明

○別冊の取扱説明書に基づいて、正しい使い方をご説明ください。

とくに「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。

○日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。

○寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。

○長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをお客様にご説明のうえ点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。

○保証書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書と共にお客様にお渡しください。

○同梱してあるダイヤホットサービスラベルに所定事項をご記入のうえ温水器の見やすい所に貼ってください。